数の暴力 必ず国民の審判

3悪法 安倍暴走

共産党 廃案求め最後まで奮闘

多数の声を踏みにじって強行したTPP、年金、カジノの3大悪法。共産党は、多くの国民が不安と疑問を抱く中、徹底審議と廃案を求めて奮闘しました。

カジノ解禁法

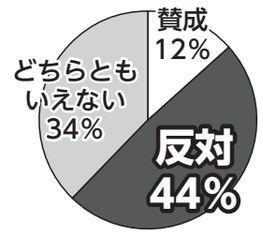
百害あって一利なし

刑法で禁じられた賭博を解禁、新たなギャンブル依存症を生み出す。「人の不幸を踏み台にするのか」(「読売」)とメディアも批判。

依存症なくせぬ

大門実紀史参院議員が追及。「ギャンブル依存症を増やさない唯一の対策は、カジノを解禁しないこと」「本質は、『成長戦略』でなく、日本人の貯蓄を海外のカジノ資本に差し出すものだ」

カジノ解禁推進法案



NHK世論調査(9～11日)

年金カット法

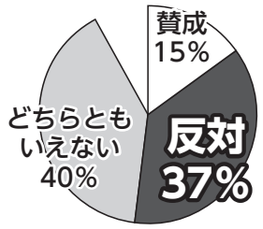
際限なく引き下げ

物価が上がっても削減、高齢者ばかりか将来世代も給付減。際限のない年金削減の新たなルールを持ち込む大改悪。

論拠総崩れ

首相は「年金カット法案でない」と言うが、共産党の追及に「将来世代の受け取る年金が増えるとは申し上げていない」と否定できず。消費税増税で物価が高騰しても削減が明らかに。

年金カット法案



同上

TPP承認関連法

日本の経済主権脅かす

多国籍企業の利益のため日本の経済・食料主権を脅かす。トランプ次期米大統領が「離脱」を明言し、発効の見通しなし。

日米協定阻止へ

トランプ氏は米国の利益優先の日米2国間交渉の推進を表明。共産党は「TPP承認は、TPPで譲歩した線が日本の国際公約となり、さらに譲歩を迫られる。日米2国間交渉阻止へ奮闘」

©カクサン部！

「殺し殺される」危険、現実に

南スーダンPKO 駆け付け警護

南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣された陸上自衛隊は、安保法制に基づく「駆け付け警護」の新任務実施が12日から可能になりました。

「駆け付け警護」では、任務を妨害する勢力を排除するため、殺傷を含む「任務遂行」のための武器使用が可能に。南スーダンが「殺し、殺される」最初の例になる危険があります。

憲法の精神に立った非軍事の人道支援・民生支援の抜本的強化こそ必要です。

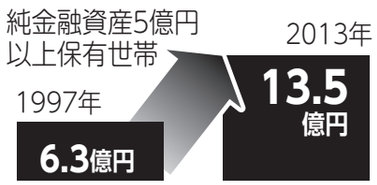
アベノミクス破たん鮮明

アベノミクスの4年で、大企業が空前の利益をあげ富裕層に富が集まる一方、労働者の平均賃金は1997年をピークに減り続け、中間層の疲弊、貧困が広がっています。

データBOX 広がる格差・貧困

富裕層への富の集中

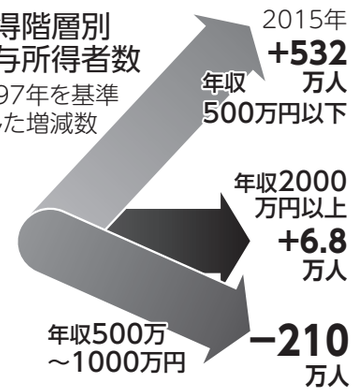
超富裕層1人あたりの金融資産



超富裕層の1人当たり金融資産は2倍に増えました。ばく大な配当と「株価つり上げ政治」による株式の値上がり益が大株主にもたらされたためです。

中間層の疲弊

労働者の平均賃金

労働者の平均賃金はこの20年で55万6千円も減少しました。給与所得者数は、年収500万～1000万円の層が210万人減る一方、年収500万円以下の層が532万人も増えました。非正規雇用の増大が背景です。

所得階層別
給与所得者数
1997年を基準とした増減数